

## 鎌倉の二大紅葉地を歩く 鎌倉・獅子舞の谷

実施日 2014年12月7日(日)  
 天候 晴  
 リーダー 一柳 昭  
 S L 伊藤 久雄  
 参加者 一柳昭、伊東勝昭、涌井良明、鈴木政三、石附智江、渋谷京子、伊藤久雄、石原勝正、関塚七海、徳山敬子、瀧澤きよの、白石佐恵、平川清秋 計13名  
 費用 JR品川駅-鎌倉駅712円 大船駅-品川駅637円 計1,349円  
 タイム 鎌倉駅(9:55)鶴岡八幡宮(10:10)鎌倉宮(10:32)瑞泉寺(10:45~11:04)獅子舞の谷(11:28~11:50)番場ヶ谷入口(11:55~12:05)大平山(昼食12:20~12:50)散在ヶ池(13:20~14:26)六国見山(15:00~15:15)大船駅

鎌倉の紅葉の見頃は鎌倉の標高が低いいため一般の紅葉のイメージより少し遅めで毎年11月中旬位から12月中旬位までです。

鎌倉の紅葉の楽しみ方は①山の中で楽しむ紅葉と②寺や神社で楽しむ紅葉があり、こぶし会は山の会なので①で山行計画を立てましたが下見の際に良かった2ヶ所を追加した計画に変更しました。

鎌倉駅を出発し鶴岡八幡宮、鎌倉宮を経て昔から紅葉ヶ谷(もみじがやつ)と呼ばれている地帯の一番奥が瑞泉寺です。

ここは鎌倉で最後に紅葉が訪れる場所といわれ12月中旬が見頃で今回はちょっと早いかと思われるがそれでも境内と周囲の山々が織りなす紅葉が美しい。

獅子舞の谷に向かう途中にある永福寺跡に寄る。永福寺(ようふくじ)は鎌倉時代初期に源頼朝が討伐した奥州藤原氏の祟りを鎮護するために建てたもので、現在は建物はない。1966年から国の史跡に指定、また鎌倉市が8割強まで土地を買取り、来年には礎石復元、3年後には池も復元され史跡公園になる予定です。

本日のメインの獅子舞の谷(ししまいのやつ)に入る前に服装を整えてから滑り易い山道を登って行く。多くの人達が歩いておりお互いに道を譲りながら登り



降りしている。獅子舞の谷は鎌倉で紅葉の最も美しいと言われている所で、カエデの紅葉とイチョウの黄葉が見事でした。獅子舞の由来は瑞泉寺の北方、亀ヶ淵の東側に獅子舞ヶ峰(標高90m)という山があり、山上に獅子巖(ししがん)という獅子がうずくまった形をした岩があることに由来しています。



獅子舞の谷を登りきり金沢文庫方面の道を5分ほど歩くと番場ヶ谷入口(番場ヶ谷の最高点)に着く。ここは大イチョウが数本あり黄葉が見事だが下見に来た9日前から比べるとピークは過ぎていた。

来た道に戻り天園を経て、沢山の人で溢れている広い大平山で昼食を取る。昼食後は鎌倉アルプスハイキングコースを建

長寺方向に進み十字路から今泉台住宅地を抜けていくと散在ヶ池公園の南口に着く。散在ヶ池(通称「鎌倉湖」と呼ばれている)は江戸時代の農業用貯水池で周辺を整備して約900種類の樹木や野草が自生している自然が豊かな森林公園になっています。比較的なだらかな「のんびり小径」、池から流れる小川の「せせらぎの小径」、起伏のきつい「馬の背の小径」



を周回すると2kmほどあるが高低差、方角などにより様々な景色が楽しめる。



元の散在ヶ池公園の南口に

に戻り今泉台住宅地を突っ切り住宅地端の山道から明月院への分岐、稚児塚を経て六国見山に着く。六国見山は名前のおり旧国名の相模、武蔵、伊豆、安房、上総、下総の六国が見える。桜の咲く頃は花見の名所になっている。

山道は大船方面に下り高野住宅地から大船駅に出て解散しました。

本日は鎌倉の紅葉・黄葉の名所めぐりと適度の山歩きが楽しめました。

(記・一柳 昭)

(写真提供・涌井 良明)